

記入例（ひかり）

記入の際は、ボールペン又は万年筆で記入してください。
パソコンで入力する場合は、文字色は黒で統一してください。
文字の書体や文章表現等は問いません。

令和7年度 きらめき補助金交付事業企画書

令和〇〇年 月 日

綾瀬市長

所在地 綾瀬市早川550番地
名称 綾瀬いきいき介護予防の会
代表者職 会長
氏名 綾瀬 花子

補助事業の区分	
ひかり	・ かがやき
事業名称	
介護予防リーダー養成講座 事業の内容や目的が伝わるように、分かりやすい名称	
事業費総額	補助金交付希望額
収支予算書の合計額 300千円	のうち補助金交付を受けたい額 100千円 (事業費総額の 33%)
補助金の使途	
講師謝礼 収支予算書の補助金充当科目と合うように	
現状の課題と事業目的	
<p>どのような理由で、どのような解決を目指すのか</p> <p>日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しており、65歳以上の人口は、3,000万人を超えており（国民の約4人に1人）、2042年の約3,900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。</p> <p>綾瀬市においても、2025年には65歳以上の人口割合を示す高齢化率が27.2%となり、要支援・要介護認定者数は4,983人に上ると予想されています。</p> <p>このため、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制が求められており、その地域における中心となる存在「介護予防リーダー」を養成することがこの事業の目的です。</p>	

地域や参加者に、どのような利益や効果を与えられるのか

事業の効果

- ・ 参加者が受け手から担い手になり、担い手自身の介護予防、健康づくりにつながっていく。
- ・ 市民ならではのネットワークや発想を活かし、地域の身近な場所での活動が増えていく。
- ・ 将来的には、市民、行政、関係機関間で、地域課題の共有や取り組みの検討を行う関係が期待される。

事業内容

実施する事業内容を記入（日時、場所、参加費、定員など）

「介護予防リーダー養成講座」

実施時期：月1回、計12回を予定

対 象：介護予防を地域で推進するリーダーを目指す方

場 所：中央公民館 講習室 等

受講料：3,000円

定 員：15名

内 容：専門家の講義によって介護予防についての知識を得たうえで、実習を通じて地域の実態を知り、修了後に実際に活動するイメージを持ってもらう。テーマは栄養、口腔ケア、体操、傾聴など。

前年度と比較し、拡充・縮小した内容（継続事業のみ記入）

記載しない

事業実施スケジュール

実施する事業や、作業内容についてのスケジュールを記入。

年月日	
4月 日	講義（テーマ： ）
5月 日	講義（テーマ： ）
6月 日	講義（テーマ： ）
7月 日	実習（テーマ： ）
8月 日	ワークショップ（テーマ： ）
9月 日	実習（テーマ： ）
10月 日	講義（テーマ： ）
11月 日	実習（テーマ： ）
12月 日	ワークショップ（テーマ： ）
1月 日	実習（テーマ： ）
2月 日	実習（テーマ： ）
3月 日	講義（テーマ： ）

<p>事業実施体制</p> <p>企画は外部専門家と相談しながら、会員が行う。</p> <p>当日は会員3名が受付等事務を行い、講師として外部専門家1名を招き実施。</p> <p>チラシ配架、広報あやせ、SNS サイトにて事業周知。ケーブルテレビ・FM ラジオ・新聞・タウン誌等に取材依頼。</p>		<p>事業実施にあたっての、団体の組織体制、PR方法などを記入。</p>
<p>今後の展望</p>		<p>企画事業を今後どのように発展させていくのか、また補助金交付終了後にどのように事業を継続していくかについて。5年後、10年後の展望を記入。</p>
5年後	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や自治会等と協力し、地域の現状についての意見交換を行う機会をつくる。 ・専門的なアドバイザーを意見交換の場に招き、話し合いや連携が進みやすくなる方法を模索していく。 ・本講座を受講した、リーダーとして活躍する人材を講師として招いた講座の実施や受講者向けの講座を実施していく。 ・介護予防リーダー養成の実績ができ、本講座の有用性が認められたら、受益者負担の原則から受講料の増に取り組んでいく。 	
10年後	<ul style="list-style-type: none"> ・本講座やその他事業を通じて、本会の目的を理解してもらい、会員数増や、協賛者数を増やし、自立した団体として取り組んでいく。 ・行政の市民協働事業制度や民間の助成金制度なども活用し、介護予防リーダーを確立させるとともに、まちづくり全体に関わっていけるような事業を展開していく。 	
<p>添付資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 収支予算書 2 資金計画書 3 団体の概要書 4 団体の規約、会則又は定款 5 役員名簿 		

収支予算書

事業名称 **介護予防リーダー養成講座**

事業名称を記入。(企画書と同じ)

会費、負担金、事業収入、助成金・補助金、寄付金など事業に係る収入を全て記入。

金額は千円単位で、千円未満を四捨五入。

1 収入の部

(単位 千円)

科目	予算額	説明
会費	25	5,000円×5名
講座受講料	150	3,000円×50名
寄附・協賛金	25	協賛金 5,000円×5社
補助金	100	きらめき補助金(ひかり)
収入合計(A)	300	

内容及び積算根拠を記入。

応募の手引き「対象となる経費の例」参照

2 支出の部

補助金を充当する項目に金額を記入。

(単位 千円)

科目	予算額	補助金 充当予定額	説明
講師謝礼	180	86	5,000円×3時間×1人×12回
会場費	14	14	250円(減免適用)×4時間×2部屋×7回(講義・ワークショップ)
消耗品費	45		実習用消耗品(介護用品等) 8,000円×5回 ワークショップ消耗品 2,500円×2回
印刷費	20		看板 3,000円、チラシ 10,000円(50部)、 ポスター2,000円(50部)、参加者用レジュメ 等 5,000円
通信費	21		事業協力依頼、周知等送料(関係団体、企業 用) 84円×20通×12回
飲食費	20		講師、参加者用お茶代(100円×200人)
支出合計(B)	300	100	

収入(A) 支出(B) = 0円

収入合計と支出合計が同じ金額になるように。

内容及び単価や数量等内訳、積算根拠を必ず記入。

団体としての5年後、10年後の資金計画を記入。
 補助金終了後も団体が自立して活動を継続する資金計画をたてているか確認する資料
 になります。あくまで計画ですが、必ず自主財源を確保する計画をたててください。

資金計画書

	科目	収入	科目	支出
5 年 後	会費	100千円	講師謝礼	240千円
	寄付・協賛	50千円	会場費	20千円
	講座受講料	200千円	消耗品	35千円
	補助金 (かがやき)	60千円 補助対象が講師謝礼の場合 240千円×25%	印刷費	20千円
		千円	通信費	35千円
		千円	飲食費	60千円
	合計	410千円		410千円
	活動内容	今回申請した介護予防リーダー養成講座の事業を継続しながら、本講座を受講し、実際にリーダーとして活動をはじめた方々を対象とした上級者向けの講座等を開始する。		
10 年 後	会費	150千円	会場費	5千円
	寄付・協賛	200千円	消耗品費	30千円
	講座受講料	150千円	飲食費	30千円
	移送サービス	300千円	人件費	1,610千円
	在宅介護	875千円		千円
		千円		千円
	合計	1,675千円		1,675千円
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・団体をNPO法人化する。 ・本事業の介護予防だけではなく、移送サービス事業や在宅介護事業などを展開し、介護給付事業にも取り組む。 		

団 体 概 要

	法人格を有している団体については、その種類（特定非営利活動法人等）も記入。
団体名称	綾瀬いきいき介護予防の会
所在地 (運営拠点)	〒252-1192 住所 綾瀬市早川550番地
	TEL 0467-70-1111 FAX 0467-70-5701
	Eメール ayase@x.x.jp
	ホームページ http://www.city.ayase.jp
	団体の事務所となる場所を記入。
連絡担当者 及び連絡先	担当者氏名 綾瀬 太郎 (役職 理事)
	TEL 0467-70-1111 FAX 0467-70-5701
	Eメール ayase@x.x.jp
	〒252-1192 郵便物送付先住所 綾瀬市早川550番地
	事業の内容について把握し、速やかに連絡が取れる方を記入。
設立年月日	年 月 日 (法人格取得年月 年 月)
団体設立の目的と経緯について。	<p style="color: red; text-align: center;">住み慣れた地域で、いきいきとした自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる方を増やすことを目的に会を設立。介護予防についての活動を普及啓発することで健康寿命を延ばし、認知症理解のための活動を行うことで介護者の負担を地域全体の問題として捉え、地域における支援体制の整備を図ります。</p>
設立目的・経緯	
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防リーダー養成講座の開催 ・認知症理解のための研修会・家族会・相談会の開催 ・地域におけるSOSネットワーク体制の整備 ・地域におけるネットワーク会議の開催 ・見守り声かけ模擬訓練の実施 ・成年後見に関する理解・支援を図る活動
	これまでの団体の主な活動を記入。
	団体の活動している施設や場所。
	市民活動センターあやせ、中央公民館、地区センター、自治会館
主な活動場所	
活動実績(過去2年以内の主な活動実績)	書類提出時点の会員数。
会員数	個人会員 5人(うち綾瀬市民 4人)、団体会員 団体
前年度の決算状況	なし
きらめき補助金交付実績	なし
上記補助金以外の交付実績	なし